

TRANSITION TO HEALTH (124)

“ 新型コロナウイルス感染 ④8 ”

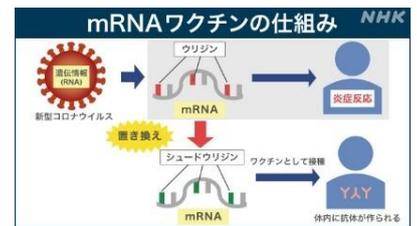
～ 最終章 ③ “ mRNA ワクチン技術：2023 ノーベル生理学・医学賞 ” ～

はじめに

2023年10月2日、ノーベル賞の選考委員会は「生理学・医学賞」に、新型コロナウイルスの「mRNA ワクチン」の開発で大きな貢献をしたとして、米国ペンシルベニア大学の研究者、**カタリン・カリコ氏**と**ドリュー・ワイスマン氏**の2人を選出した。2人は人工的に合成した遺伝物質の mRNA をワクチンとして使うための基礎となる方法を開発した（選考委員会）。授賞理由について「2人の発見は、2020年初頭に始まったパンデミックで新型コロナウイルスに対して効果的な mRNA ワクチンの開発に不可欠だった」として、その上で「mRNA が免疫システムにどう相互に作用するかについて、私たち（選考委員）の理解を根本から変えた画期的な発見を通じて、2人は現代における人類の健康に対する最大の脅威の1つだったパンデミックで前例のないスピードのワクチン開発に貢献した」と評価した（選考委員会の見解、NHK 報道参照）。



mRNA はヒトに投与すると体内で炎症が引き起こされるため、医薬品として使うには難題であったが、カリコ氏らは mRNA を構成する物質（ウリジン）を別の物質（シュードウリジン）に置き換えることで炎症反応が抑えられることを発見し、2005年に発表した。さらに、このシュードウリジンに置き換えられた mRNA を使うと、目的とする蛋白質が劇的に効率よく作られることを発見した。この技術をもとに製薬会社がワクチン



の開発に乗り出し、新型コロナのパンデミック時には、記録的な速さでワクチンの開発に成功した（NHK 報道による）。

授賞は時期尚早！！ 安全性に対するノーベル賞選考委員会の見解に異議あり

選考委員会は「mRNA ワクチンの接種は始まってまだ間もないが、すでに延べ 130 億人が接種を受けている。副反応も限定的で大きな懸念とは考えられない。有害事象として特に若い男性で心筋炎が出ることもあるが、ほとんどの場合は軽症で、特に長期的な影響はなく解消する。コロナに感染してしまう方が長期的な健康への影響がある。」と考えている（NHK 報道による）。さらに、選考委員会は「わずか1年たらずという短期間で有効性 90%以上という高い効果をもたらした」（NHK 報道）としている。

しかし、実は有効率はわずか 0.71% しかなかったのではないかと、という私の見解をお伝えしてきた（個人的見解、健康通信 No.91 2021年4月）。

また、厚生労働省は「安全性データは得られていない」と（正直に？）審議会報告しており、Pfizer 社は

「感染予防効果は明らかになっていません」と（正直に？）説明書に記載していたことは何度もお伝えしてきた。

ここで、ノーベル賞選考委員会が「長期的な影響なく解消（した）」としている「心筋炎」についてみてみましょう。

mRNA ワクチンの光と影（個人的見解）

- 2023年 ノーベル生理学・医学賞（mRNA ワクチン）
「何百万人もの命を救った」・・・？
「世界で130億回も投与」
授賞は・・・時期尚早では（個人的見解）
★ **光**
新型コロナ？？
癌・自己免疫疾患・心疾患などでの治療効果が確認されたならば分るが・・・
- COVID-19 ワクチン 裁判始まる
「安全性・有効性未確認のまま接種し、何百万人もの人を死に至らした」
☁ **影**
戦争犯罪扱い！

ワクチン接種により体内で作られ続ける **スパイクタンパク** が **心筋炎** を起こす

◆ 慶応大学医学部放射線科学教室『Radiology』に発表(2023 Sep.) ; 接種者は **無症状でも全員「心筋炎」!**

ドイツの論文にも、「ワクチン接種者は**全員心筋炎**を起こし得る」というものがあつたが、日本の慶応大学医学部放射線科学教室(中原健裕氏ら)も論文を発表しているので、ここに引用しよう。SARS-CoV-2 ワクチン接種後に心筋炎を発症した患者は、心臓 MRI に異常を示す。心筋を評価する ¹⁸F-FDG を用いて無症候性のワクチン接種患者と未接種患者で、PET/CT の F-FDG の取り込み量を比較した。対象者は、ワクチン**未接種**患者 **303** 人(平均年齢 52.9 歳±14.9 内 **女性 157** 人)とワクチン**接種**患者 **700** 人(平均年齢 56.8 歳±13.7 内 **女性 344** 人)。結果は、ワクチン接種患者はワクチン未接種患者と比較して、**心筋 FDG の取り込み**が高かつた。若い男性だけにとどまらず、心筋 SUVmax は性別・年齢に関係なく、ワクチン接種を受けた患者で、対応する非ワクチン群と比較して高かつた。さらに、2 回目のワクチン接種後 1-30 日、31-60 日、61-120 日、121-180 日後に画像化された患者では**心筋 FDG 取り込みの増加**が観察されたという。これらの結果を分かりやすく表にすると、上のようになる。



Assessment of Myocardial ¹⁸F-FDG Uptake at PET/CT in Asymptomatic SARS-CoV-2-vaccinated and Nonvaccinated Patients

慶應義塾大学医学部放射線科学教室 調査対象: 非接種者 303人
Radiology. 2023 Sep;308(3) 接種者(無症状) 700人

ワクチン接種群では(ワクチン未接種群と比較し)

- 結果① : 「**無症状**」でも明らかに**心臓の炎症**が強く疑われた
- 結果② : 男女、いずれの年齢層でも、**心臓に炎症**が疑われた
- 結果③ : ワクチン接種後**180日**経過しても、**心臓に炎症**があつた
- 結論 : **全員が、心臓に炎症**を長期間起こしている可能性が高い

有害事象は **心筋炎** だけではない・・・ **間質性肺炎**、**自己免疫疾患**、**難病**、**癌** など

mRNA ワクチン接種後の有害事象は**心筋炎**だけに留まらない。SNS 上では、皮膚科領域では**帯状疱疹**が激増している、呼吸器科領域では**間質性肺炎**が増えている、**肺癌**は 20 倍以上も増えている。ワクチン多重接種者の体調不良で発見される初めての癌は、早期癌ではなく、**いきなりステージ 4 の末期癌**がほとんどで余命 6 カ月、などとも数多く報告されていた。また、日本では若年者における稀な難病も増えている。名古屋大学名誉教授の小島勢二氏は「中・高校生におけるコロナ**ワクチン後遺症**としての難病『**副腎機能低下症**(アジソン病)』」が高率に発生していることを指摘している。このように mRNA ワクチン接種後、種々の有害事象が多々発生しており、日本では **400 件**以上の**学会報告**がなされている(2023 年 10 月現在)。

◆ ワクチン(Covid-19 Vaccine)で **14万倍**も **癌** が発生している??

米国政府のワクチン有害事象報告システム (VAERS)によると、コロナパンデミック前のワクチン(この場合はほとんどインフルエンザワクチン)により癌が発生したのではないかと疑われた報告数と比較すると、2022 年では **1,433 倍**に、今年 2023 年では(まだ 11 月 12 月を残しているのだが・・・)、すでに **14万倍**超も報告されているという。また、今回の Covid-19 Vaccine には「遺伝子組み換え」という危険性とは別に、次のような「危険性」もあるらしい。

◆ ワクチンで **ターボ癌発症**、**ワクチンに 発癌遺伝子(SV40)** が **混入**されている??

大阪市立大学名誉教授・井上正康氏は「mRNA ワクチンには**ターボ癌発症**の原因となる “**SV40 発癌遺伝子**” が混入さ

れている為、決して打ってはならない!!」と警鐘を鳴らしている。「**遺伝子組換えワクチン** = **免疫抑制物質 + 発癌遺伝子(SV40)**」ということである。“SV40” については、8 年ほど前、本通信 No.43(2015 年 12 月)で「**モーリス・ヒルマン**博士の内部告発ビデオ」として紹介している。「SV40 の混入」疑惑については、私たちワクチン慎重派の医師にとっては以前からの常識(?)であるわけである。

おわりに 今回のノーベル賞授賞予定(?)の mRNA 技術は、ウイルス(存在すら確認されていない)その

ものを使わず、机上(?)・コンピューター上(?)の**遺伝情報**だけを使って、**短期間**にワクチン(といえるのか?)を生み出したという点に大きなメリット(いや、人類の健康にとっては最大のデメリットでは?)があると考へての授賞である。お二人には、今回は、是非、受賞辞退を! 近い将来、必ず授賞する素晴らしい技術なのだから。叶わぬことであろうが、人類の健康の為に、私は祈る! Amen! **TRANSITION TO HEALTH** (理事長・医師 丸山 正明)

mRNAワクチンの光と影 その2

- インドは「**イベルメクチン**」で、中国は「**アピガン**」で “新型コロナ” をコントロール、克服している。
- 日本では、「アピガン」「イベルメクチン」は使用禁止。“新型コロナ**ワクチン後遺症**”を“新型コロナ**感染後遺症**”と偽って、対症療法をしているだけ。
- 日本だけが、今後もワクチンを打ち続ける。日本国内でワクチン生産・・・地産地消!? 日本は、ワクチンメーカーにとって、巨大市場!、ターゲット!
- コロナワクチン多重接種者は“5年以内に死ぬ”・・・は本当か?
- ワクチン接種後**ガン**発生率:米・ワクチン有害事象報告システム(VAERS)(対コロナワクチン前) 2022年・・・1,433倍↑ 2023年・・・**14万倍**↑↑↑???